

2025 年 9 月 1 日

Value Management Innovation

株式会社ブイ・エム・アイ総研

## 「活・人・経・営®」コラム第 112 回

### ＜経営者の孤独感＞

昨年度（2024 年 4 月～2025 年 3 月）は、負債総額が 1,000 万円以上の国内倒産企業数が東京商工リサーチによると、2013 年以来となる 1 万件を越えています。企業経営者は、刻々と変化するミクロやマクロの外部環境変化を分析しながら、社内の各部門から上がってくる数字や情報とすり合わせをしつつ経営のかじ取りをし、企業の生死を担っています。

企業は持続的な成長を以ってビジョンの実現を目指し、大きな緊張感や集中力を伴いながら日々歩んでいますので、経営者は大変なエネルギーをエンドレスで消耗します。順調に経営目標が達成されていても緊張感が緩むと、社内・外で起きている重要な変化の兆しを見逃し易く、対策が遅れると瞬時に赤字経営に転落してしまうリスクも常に隣り合わせです。そして経営の急拡大は取り返しのつかないような大きな失敗と対峙しなければなりません。

経営者は常に見えない未来との格闘の連続で、しかも最終的な経営責任を負っているため、不安感が引退するまで常に付きまとい、昔から「経営者は孤独」と言われる所以です。

企業経営者のスタイルは 100 人 100 様ですが、事業発展の道を歩んでおられる方々の生き方、考え方には共通点を感じます。特に、経営は人と人、組織と組織の連携なしでは成り立たないことを熟知しており、社内・外のコミュニケーションを誰よりも重要視しています。論語で説いている「徳」又はそれに近い考え方で人と接し、私欲に陥らず強く前を向いています。この人間力が生み出す信頼感が相互理解を呼び、組織行動力が機能しています。

### ＜徳は孤ならず、必ず隣あり。（里仁）＞

心豊かな人は孤立することはなく、必ず隣に同じ優れた仲間がいるものです。  
(ビジネス訳)

あなたが、私欲ではなく、企業の経営理念やビジョン、自分の良心に沿った発言や行動を選び、お客様満足とリーダーとしてふさわしい人間を目指しているのであれば、孤独を感じることもあっても、必ず支援者や共鳴する人が出てきてくれます

— 出典：「リーダーを支える『論語』入門」青柳浩明著 —